

市議会だより

No.55



2019年8月1日発行
発行 仙北市議会
編集 仙北市議会・
広報編集 特別委員会

6月定例会、議員賛否	P2
予算常任委員会	P3
新角館庁舎建設 他	P4
一般質問	P5～12
総務文教常任委員会	P13
市民福祉常任委員会	P14
産業建設常任委員会	P15
いきいき広場・控室・ 編集後記	P16



❑癒しを求めて乳頭温泉郷



令和元年度一般会計補正予算

補正額 8,992万円を可決 累計212億592万円に

**消費増税に伴う関係条例整備や低所得者対策としての
プレミアム商品券事業費などを可決**

**6月定例会
可決・承認された主な議案**

- ◇仙北市消費税法及び地方税法の一部改正等に伴う関係条例の整備に関する条例制定
- ◇仙北市基金条例の一部を改正する条例制定（森林環境税及び森林環境譲与税）
- ◇仙北市地域型保育事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定
- ◇仙北市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定
- ◇仙北市立幼保連携型認定こども園条例の一部を改正する条例制定
- ◇令和元年度仙北市一般会計補正予算（第1号）
- ◇令和元年度仙北市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）

- ◇令和元年度生保内財産区特別会計補正予算（第1号）
- ◇令和元年度仙北市水道事業会計補正予算（第1号）
- ◇仙北市過疎地域自立促進計画の変更について
- ◇工事請負契約の締結（農山村地域整備交付金 農業集落排水事業（機能強化） 桧木内地区処理施設改築工事請負契約）
- ◇教職員定数改善と義務教育費国庫負担割合2分の1復元をはかるための、2020年度政府予算に係る意見書採択の請願
- ◇地方財政の充実・強化を求める意見書

議決結果/議員賛否 令和元年 第3回 仙北市議会定例会(招集日:6/5 最終日:6/28)

凡例：賛→賛成、反→反対 退→退席 欠→欠席（議長は法律で定めるケース以外では表決をしないことになっています）

議案番号	会派及び氏名 件 名	議決 月日	議決 結果	産生会										市民クラブ				公明党	共産党	無所属議員
				黒沢龍己	小林幸悦	高橋 豪	田口寿宜	八柳良太郎	真崎寿浩	高橋輝彦	武藤義彦	門脇晃幸	稲田 修	伊藤邦彦	阿部則比古	荒木田俊一	小木田 隆	熊谷 一夫	平岡 裕子	高久 昭二
議案第 56 号	総務部及び教育委員会に係る消費税法及び地方税法の一部改正等に伴う関係条例の整備に関する条例制定について	6/28	可決	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	反	反
議案第 57 号	市民福祉部及び医療局に係る消費税法及び地方税法の一部改正等に伴う関係条例の整備に関する条例制定について	6/28	可決	全会一致																全会一致
議案第 58 号	観光商工部、農林部及び建設部に係る消費税法及び地方税法の一部改正等に伴う関係条例の整備に関する条例制定について	6/28	可決	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	反	反
議案第 64 号	令和元年度仙北市一般会計補正予算（第1号）	6/28	可決	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	反	反
議案第 66 号	令和元年度仙北市生保内財産区特別会計補正予算（第1号）	6/28	可決	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	反
議案第 69 号	工事請負契約の締結について	6/28	可決	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	反
	閉会中の継続審査申出（請願第2号「イージス・アショア秋田市新屋地区配備計画」の撤回を国に求める請願書）	6/28	継続審査	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	反

※全会一致で可決された議案については議員賛否を掲載しておりません。

予算常任委員会

本会議・予算常任委員会

～6月定例会で審議された補正予算の主な内容～

主な 内容	モビリティサービス推進事業費	181万円
	公共交通における自動走行を目指した調査事業	
	プレミアム商品券事業費	4,384万円
	消費増税に伴う低所得者対策としてのプレミアム商品券発行事業	
	予防事業費	327万円
	風しん抗体検査・予防接種委託料など	
	強い農業・担い手づくり総合支援事業費補助金	183万円
	農業法人の農業用機械購入への補助	
	森林経営制度管理事業費	2,639万円
	森林アドバイザー、私有林調査業務委託など森林環境譲与税関連の事業	
	ジビエ振興事業費補助金	150万円
	ジビエ加工施設整備に関する補助金	
	施設管理費（中川小学校）	159万円
	市民野球場管理運営費（雲然球場）	283万円
	角館東地区公民館野球場への企業移転に伴う、中川小学校グラウンド及び雲然球場の整備費	

本会議・予算委員会での質疑

モビリティサービス 自動走行に向けた調査の内容は？

質問 モビリティサービス推進事業費とは？

答弁 この事業は、地域公共交通における運転手不足の課題に対応する為、東京都のモネテクノロジーズ(株)に委託し、白岩のデマンド型タクシーと、抱返り方面の観光周遊バスに調査装置を取り付け、そのデータを収集・分析し、将来の自動走行につなげるという取り組みである。予算は、初期設定や、調査機器の賃借料及び周知チラシ作成が主な内容である。

プレミアム商品券事業の在り方を問う

質問 プレミアム付き商品券事業が、同一世帯内に課税されている方が対象にならないのは、低所得者の消費を下支えする目的に矛盾するのではないかと。また、本当にお金がかかるのは3歳半以上の子育て世代ではないかと。

答弁 共感する。地方の意見も参考にしながら、よりきめ細かに対応していただければ更に良かったが、全国一斉の国の制度なので受入れるしかない。

熊肉などの解体・加工施設整備へ補助 ジビエ振興とは？

質問 ジビエ振興事業費の内容は？

答弁 「田沢湖ジビエの会」による熊肉などの加工施設整備に対する補助金である。鳥獣の処理は現在、ブルーシートで覆うなどしながら処理されているケースもあり、これを法令等に基づいた、電気、給排水、浄化設備も整えた衛生的な建物で行うことができるようにするものである。ジビエ振興により、農作物被害対策に取り組む先進自治体に遅れを取らないようにしたい。将来的には、地域独自の食材として観光につながる側面もあるので、関係者と意見交換しながら振興策について計画していきたい。

新角館庁舎建設工事入札 3度目の入札で落札者決定する

2度にわたり入札が不調となっていた「新角館庁舎建設工事」の入札が7月12日に行われ、3社の特定建設工事共同企業体からの応札があり、瀧神・小松・寺沢JVが落札しました。市では2度の入札不調を受け、設計内容の見直し等を行うことを議員全員協議会で示していましたが、3度目の入札にしてようやく落札となりました。今後、議会の議決を経て工事契約が締結されます。

◆入札結果

入札公告……令和元年6月19日 入札日時 令和元年7月12日（午後1時10分）

入札方式……条件付一般競争入札（秋田県電子入札システム）

業者名	入札金額 (税抜価格)	結果
瀧神・小松・寺沢特定建設工事共同企業体 代表者 (株)瀧神巧業	1,510,000,000 円	落札
(株)沢木組・山科建設(株)・ 三菱マテリアル電子化成(株)特定建設工事共同企業体 代表者 (株)沢木組	1,512,000,000 円	
中田・長田・中山特定建設工事共同企業体 代表者 中田建設(株)	1,516,745,000 円	

仮契約日……令和元年7月18日

契約額……1,661,000,000 円（税込価格）（内消費税及び地方消費税 151,000,000 円）

予定価格……1,668,423,900 円（税込価格）

◆工事概要

構 造……鉄筋コンクリート造＋一部鉄骨造 階数：地上2階＋塔屋

延床面積……4071.65㎡

工種 1、建築工事1式 2、電気設備工事1式 3、機械設備工事1式 4、外構工事1式



全国市議会
議長会より
表彰と感謝状

全国市議会議長会より
伊藤邦彦議員は、通算
15年以上（旧市町村時
代を含む）市議会議員
として功労された功績
を称え表彰。青柳宗五
郎議長は、常任委員会
委員として勤められた
功績で感謝状を頂きま
した。おめでとうございます。
また、前市議会議員
の安藤武さんは、永年、
地方自治発展に尽力さ
れたとして、春の叙勲
で「旭日双光章」を受
賞されました。大変お
めでとうございます。

市議会 おでかけ の知らせ

仙北市議会では、市民の皆様と議会議員の意見交換会「おでかけ市議会」を始めます。開催は、市民の皆様からの申込みによる場合と、議会から意見交換をお願いする場合の2種類があります。市民の皆様からお申込みをいただく場合は、下記の要件等をご確認のうえ、議会事務局へご連絡下さい。

- (1)対 象…市内在住、又は在勤する方で構成する10人以上程度の団体やグループ
- (2)開催場所…原則ご希望の場所で開催します
- (3)参加議員…ご希望内容（テーマ）に基づき所管する委員会の議員が参加します
- (4)対象テーマ…（財政、人口減少問題、まちづくり、公共交通、農業振興、観光、企業誘致、林業振興、有害鳥獣、都市計画、環境問題、国保、福祉、病院、教育、議会運営など）

●お申込み先…仙北市議会事務局 TEL0187-43-0334

子供たちの安全をどう守るか。

蒼生会 武藤 義彦 議員



市長

命を守るために最大努力を注いでいく。



■安全最優先での園児の散歩

子供たちを巻き込む事故・事件にどう対応するか

質問 全国各地で子供たちが犠牲になる悲惨な事故・事件が相次いでいるが、仙北市での独自の対応策は検討しているか。

答弁 園児・児童の散歩や移動時は、必ず担任、補助員、支援員等が引率して安全を確認している。また、保育園では、園外保育の事前の下見やお散歩マップの作成に取り組

み、危険箇所を職員が共有し安全対策の徹底を図っている。

質問 園児や児童の全ての行動を保育士や教師の努力や注意だけでは防ぎようがない。保護者や行政、警察等の連携以外にも地域を巻き込んだ取り組みが必要ではないか。

答弁 安全対策のために地域から危険箇所等の情報提供を頂きながら子供たちの命を守るために最大努力を注ぐ覚悟で臨んでいく。

新角館庁舎建設2度の入札不調について

質問 2度の入札不調で市民から「プレハブでも十分だ。計画の見直しが必要だ。」との声もあるが、現角館庁舎の危険回避のためにも、3度目の入札不調は許されない状況である。2度の入札不調の原因は建設資材の見積価格算定に問題があったからではないのか。また、予定価格の変動はあるのか伺う。

答弁 県内で確保できない建設資材もあり、設計業者の見積算定率の算定における、市場の動向との差異が不調の原因と捉え、資材の仕様見直し

等の修正作業や建物の意匠見直し等を進めてきた。予定価格に大きな変動はない。

耕作放棄地の環境保全について

質問 耕作放棄地の近年の推移と現地見回り・指導等でも解消されない理由を伺う。

答弁 近年は、事業による農地の再生等により平場の地区では耕作放棄地の解消が進んでいる。また、多面的支払交付金を活用し、耕作放棄地が増加しない対策も講じてい



■耕作放棄地の環境整備に市の助成を

る。解消されない理由は、所有者の高齢化、相続人不明等が挙げられる。

質問 交付金対象外耕作放棄地の草刈りなどを実施した場合、集落に対し市単独の助成を考えるべきではないか。

答弁 来年度に向けて、国及び県の動向も注視し、実態的に対応できる制度の活用を提供していきたい。

スマートシティ先行モデル選定について

質問 5月31日に国交省が募集していた「スマートシティ先行モデル」に選定されたが、具体的な取り組み内容と実証調査予算は複数年になっても継続して支援されるのか伺う。

答弁 具体的な取り組みは①交通モビリティ②水素エネルギー活用③人流データ分析による観光振興④農業へのIoT導入による生産性の向上⑤ドローンによる物流の5つである。2030年度までのロードマップを策定し地域課題の解消を図る事業計画としたい。

(高橋 輝彦記)

新角館庁舎建設 3度目の入札準備は万全か。

蒼生会 高橋輝彦 議員



市長

今出来ることは、最大限努力した。

令和元年度の主要工事 の状況を問う。

質問 市民がとても心配している新角館庁舎建設工事の3度目の入札準備は万全か。

答弁 万全を期するためにも、見積りの一つ、一つの仕様、意匠等を検討して全体的に設計を見直した。非常に細

やかな作業を行った。
質問 旧角館東小学校野球場の代替野球場整備は、利用団体の要望が反映されたものになっているか。

答弁 (教育長) 代替施設整備検討会を開催し、500歳

野球や学童野球の公式試合が出来る野球場整備を優先的に行う方針とした。



■老朽化した角館庁舎

質問 小・中学校の全教室に設置する冷暖房設備工事の工期が8月30日となっているが、設置工事が完了した教室から順次使用することは出来ないものか。

答弁 (教育長) 各学校単位で完成検査後に稼働を許可する予定だ。施工業者には少しでも早く稼働できるように依頼している。

令和元年度の新規事業 等を問う。

質問 10月からの幼児教育・保育の無償化に続き、県と市町村が行う幼保の副食（おかず）費の助成事業の概要を伺う。

答弁 副食費の負担は、年収360万円以上640万円未満の世帯が二分の一、年収640万円以上の世帯が四分の三となる。（共に第一子のみ負担で第二子以降は無償）

質問 市、JR、DMO候補法人（観光協会）の三者連携の「観光まちづくり事業」に期待している。事業の目玉である西宮家敷地内での宿泊施設事業の概要を伺う。

答弁 JR秋田支社より、滞在型宿泊施設（古民家風）を展開したいとの提案を受け、

条件等を考慮し、西宮家が最適と考え、(株)西宮家の取締役会で説明し理解を得た。

答弁 (観光商工部長) 宿泊施設は蔵2棟を利用した古民家風のもので、定員は6名程度を想定している。庭を整備し、一日一組、国内シニア世代・インバウンドをターゲットとし、価格は通常のホテルより高めの設定となるようだ。条件が整えば、今年の紅葉シーズンにはオープンする予定である。

質問 国家戦略特区、SDGs未来都市、スマートシティ先行モデルプロジェクト等に指定され、内閣府との特区推進共同事務所も設立し、近未来技術の実証などを行っているが、多くの市民は理解していない。仙北市のプラスの効果などをわかりやすく説明すべきではないか。

答弁 自治体や国の将来の在り方を左右する先進性にあふれた多くの取り組みをしている自負心はある。経費をかけることなく工夫をし、市民の皆様に取り組みを紹介出来ると思う。仕組みを整えるための時間を頂きたい。

(門脇晃幸記)

庁舎建設費用を減らして市民の安全対策 に向けるべきだ

市民クラブ 小 木 田 隆 議員



市長

老朽化した角館庁舎建替は安全対策としても 優先度が高い

市の財政と公共事業予算の在り方を問う

質問 仙北市の財政は非常に厳しい状況にあり、今後、すべての事業を対象に見直しをするとの方針の一方で、新角館庁舎の建築を20億円以上の額で予定通り進めようとしているが、面積要件も含めて見直しをする考えはないのか。

答弁 向こう数年間は非常に

厳しい行財政運営になることが予測され、歳入対策として、市税・使用料等の徴収率向上、市有財産の売却・譲渡など実施し、また、歳出対策としては、大型事業はもちろん、市の単独補助金など全ての事業をゼロベースで見直し、市にとって真に必要な事業以外は廃止も辞さない決意であたる。

これまで示して

きた庁舎の規模、持

たせる機能等を変

えることなく、意

匠等の変更を行い、

予算額も膨らまない形で速やかに着工する。それが今できる最善な策と考えている。最低限の機能で将来の仙北市民のまちづくりの拠点として、しっかりと行政サービスを提供することができる市役所を作っていく。

質問 市民からは庁舎建築には予算をかけず、道路や橋などのインフラ整備にもっとお金を使うべきとの声もある。その声に応えるためにも、庁舎建築経費を少しでも低く抑え、市民生活において危険性が懸念される事業について、早急に対応すべきと考えるがどうか。

答弁 公共事業については重要性、優先度の高いところから予算化していく。我慢するところは我慢しての予算編成

(真崎 寿浩 記)



■新角館庁舎建設予定地



■老朽化が著しい内川橋 早期の架け替えを



公明党 熊谷一夫 議員

田沢湖の遊覧船乗り場に車椅子や障害者用のスロープを設置できないか。

市長

少し時間はかかるが進展できるものと思っている。

田沢湖畔の整備促進を

質問 田沢湖の観光遊覧船乗り場に車椅子や障害者用のスロープを設置できないか。

答弁 湖面及び水際周辺部の多くは県有地であり、遊覧船乗り場周辺も市で単独整備等ができないため、県に対応を依頼している。少し時間はかかるが進展できるものと思っている。

質問 美しい観光地としての田沢湖畔の活性化策を伺う。

答弁 田沢湖畔の県立自然公園の整備をはじめ、県からの様々な協力も頂いている。今後も県市が連携して各々が協力し合うというスタンスがなければいけないと考える。



■車いすや障害を持つ方へ優しいスロープを

稼ぐ！地方創生であれ

質問 以前、バスの自動走行実験を田沢湖畔で行なったが、無人バス構想はどこまで進んだのか。

答弁 自動走行に向けたデータを取得する段階まで進んでいる。全国に広まった公道実証は、田沢湖畔での実験成功が引き金になっている。

質問 国有林野の貸付面積拡

大の具体的な活用例を伺う。

答弁 (地方創生・総合戦略統括監) キクイモの生産と加工事業の面積が拡大している。豚の放牧を行っている会社

に関しては、放牧頭数も増加している。レストランの営業も展開している。

森林環境譲与税で森林整備や人材確保を

質問 税の使途、また譲与基準、森林管理システムとその効果、今後の課題について伺う。

答弁 手入れの行き届いていない私有林の人工林について、所有者の同意を得た上で市が間伐等を行い管理していく。林道・作業道の補修等に、森林環境譲与税は充当できない。手入れのされていない森林に関心のない所有者からどの程度同意を集積できるか未知数のため、事業を行いつつながらより良い方策を探っていく。

答弁 (農林部長) 森林を管理する経営体を募集し委託することになると想定している。

人口減少2040年問題

質問 働き手不足に対する対

応について伺う。

答弁 継続雇用延長や定年延長、高齢者の就業促進、育児休暇の改善や短時間勤務、フレックスタイム制度の導入、女性の就業促進、職に就いていない方々の職場への誘導など様々な取り組みを行う。

答弁 (商工観光部長) 市内の労働力確保に取り組む。小・中学生への職業キャリア教育を推進し、地元就職への意識付けをすることで一定の労働力確保推進を図っていく。

質問 健康寿命の延伸や認知症施策の強化をどうするか。

答弁 健康ポイント制度を取り入れた健康増進事業やヘルスケア事業を軸に取り組みを進めていく。

答弁 (市民福祉部長) 市では、脳若さわか教室の実施や、認知症予防と早期発見のため、タブレット端末を活用した取り組み等を行っている。認知症を地域で支え合うことを目的に、集いの場としてのオレンジカフェ7団体に助成している。

(平岡裕子記)

保育料無償化は保護者負担軽減につながるか。

日本共産党 平岡 裕子 議員



市長 県の助成と市独自の助成で負担を軽減する。

医療機関の手数料を問う

質問 普通診断書中、「簡単なもの」「複雑なもの」の違いと、その他の文書料の内容を伺う。

答弁 病院所定の様式であれば「簡単なもの」、生命保険など様々な記入が必要である場合は「複雑なもの」としている。その他の文書料は、診断書・証明書のいずれにも該当しないものを想定しているが、この数年発行実績がない。

子供を産み育てやすい環境づくりを

質問 仙北市イクボス共同宣言は生かされているか。

答弁 宣言をした管理職からは、今まで感じ取れなかった部下の様々な感情が、その意識付けにより把握ができていていると聞いている。まだ歩き始めで、職場環境が劇的に変わる状況ではないが、徐々に浸透していると受け

止めている。

質問 10月から実施の保育料無償化は保護者の負担軽減につながるのか。

答弁 これまで保育料に含まれていた副食費等については、県と同じ基準で助成する。第2子以降は、これまでどおり市の独自助成により保護者負担を軽減する。

市民の命と暮らしを守るために

質問 免許返納後の生活不安から巡回バス等の要望もあるが、施策を問う。また、モビリティサービス推進事業の白



■仙北市のイクボス宣言の様子

岩デマンドタクシーと角館・抱返り観光周遊バスの選定理由は何か。

答弁 免許返納者には、市民バス・デマンドタクシー等で利用できる1万円分相当の回数券を交付し、経済的負担の軽減を図っている。巡回バス等の要望に対しては、時間帯・運行経路、利用者数などを把握した上で、効果が見込める場合には、運行を検討する。

白岩デマンドタクシーの選定理由は、運行距離の短さ、道路状況の良さ、観光周遊バスルートに近い等である。角館・抱返り観光周遊バスについては、インバウンドの2次アクセスの課題解決に効果が見込めることや、運行実績があることが理由である。

質問 水道を待ち望んでいる地域に早期対応を。

答弁 喫緊の対応を必要とする地域に絞って事業を進めている。角館東前郷地区からも水道の早期実現要望を受けているが、令和3年度から新たに策定した水道事業基本計画に基づき進めていく。

質問 使用頻度の高い集会所や会館にエアコン設置を望む声もあるが考えを問う。

答弁 仙北市集落集会所建築費補助金交付要綱では、エアコンは補助対象外となっているが、高齢者の健康面・コミュニティの形成という観点から、エアコン設置を補助対象とする方向で交付要綱の見直しを検討したい。

(武藤 義彦 記)



■デマンドタクシーの停留所

仙北市の財政は今後大丈夫なのか

市民クラブ 阿部 則比古 議員



市長

反省点も多々あるが、対策を全力で行う

仙北市の財政を問う

質問 これまでの想定を超える人口の減少や高齢化によって、今後、交付金や自主財源の減少が危惧される中、現在及び今後の事業や、インフラの維持、社会保障費の増大等、市を取り巻くありとあらゆるファクターが財政の破綻を強く示唆している。これまでの財政運営が、しっかりとした長・中期ビジョンに立脚したものであったのか。反省点はなかったのかを問う。

答弁 仙北市は、少子高齢化や人口減少が他県の市町村よりも進む推計がある。

市税、地方交付税等の一般財源の確保は、より厳しさが増していくと考えられるが、地方財政審議会によると、合併算定替えによる縮減後は、人口減に直結した一般財源の減少にはならないような地方財政制度が講じられるようだ。反省点について



■地域運営体 公金運用のあり方について議論を

では、全ての事柄がそれにあたるが、例えば庁舎の統合化の計画を断念せざるを得なくなり、思うような戦略的財政運営ができていないということや、市民の方々からの要望に應えるために創設した多くの補助金について見直しが遅れたこと。また、病院事業、下水道事業、温泉事業など、公営企業会計で行財政改革を進めるスピードが遅く、国保会計も含めて一般会計からの繰り出しが増えている現状、公共施設の集約化が進んでい

ないこと。第三セクターの見直しが進んでいないこと。財政調整基金の現在高が減少していること等々、どれも心配している内容である。この後、税金の無駄を省き、自治体として地域住民の安全・安心、幸せを支える本質的な業務に注力して、公共施設の統廃合等を進めながら、歳入対策、歳出対策を全力で実施し、行財政運営に当たらなければいけないと考えている。

質問 地域運営体の存在が財政規律を甘くしているのではないのか。

答弁 この制度は間もなく10年を迎えるが、地域運営体は無くてはならないという評価の一方で、見直しや廃止の意見双方があると思っている。特に制度の否定ではなく、公金の運用の仕方に対して問題があるのではないかという指摘については、協議の上、改善できるものは改善していきたい。

病院経営は大丈夫か

質問 2つの市立病院については、財政的に大きな負担となっているが、今後どう取り組んでいくのか。

答弁 (病院事業管理者) 一般会計からの繰入れは、平成29年度までは、国からの交付税措置のみに対応したものを繰入れしていたが、平成30年度以降は地方財政計画等も参考にし、算定方法を明確にした上で行っている。繰入額が増加したのは、病院建設による起債の償還によるもので、今後大きくなる。

経営改善についてコンサルタントにも依頼し、地域ニーズに沿いつつ、一定の収益が上がるよう対策を積み上げていく。

質問 角館病院の精神科病棟が閉鎖になり、36床が空いている。医師不足で再開が難しいのであれば、これを一般病床に変えることはできないのか

答弁 (病院事業管理者) 休床している病床については再開が厳しい状況だ。ただし、いつまでもそのまましておく訳にはいかないので、院内に病床再編検討委員会を立ち上げて、一般病床化も含め利用方法について検討を行っている。

(小木田隆記)

遅咲きの候補にオオシマザクラを。

蒼生会 八柳良太郎 議員



教育長

角館にとって都合のいい品種になり得る可能性はある。

武家屋敷周辺と桜の整備を

質問 今年10年ぶりに古城山の桜が咲いたが、何か施策を講じたのか。

答弁 特別な事はしていない。ウソの飛来が少なく、花のつぼみの被害がなかったと話す方もいる。今後も市民、民間団体と協働で公園・桜の管理に努めたい。

質問 ライブカメラが非常に見にくいとの事だがその理由は。

答弁 (総務部長) 最新式のウィンドウズ10以外では見られないという状況が発生している。パソコンだけでなくスマホでも見る手法が適切か検討している。



■改修されるポケットパークトイレ(伝承館前)

討している。精査して、ライブカメラ画像を活用できるようにしていきたい。

質問 ポケットパークのトイレの改修を秋の行楽シーズン前にできないか。

答弁 便器の洋式化、誘導看板等も含め全面改修する。国の補助金申請が終わり、採択待ちである。工事等は、11月から12月、供用開始は1月ごろを予定している。

質問 紅葉シーズン前に桜の葉が病気で落ちてしまい景観が損なわれる。葉をまいて、落ちないようにできないか。

答弁 殺菌と殺虫の消毒を年4回実施している。その年毎に虫の付きが違う。臨機応変に対応して秋の紅葉シーズンを迎えたい。

質問 遅咲き桜の候補として、紅八重桜、ヤマザクラ、観山などがあるが、オオシマザクラも候補にできないか。

答弁 花の色や咲く時期が、角館にとって都合のいい品種になり得る可能性はある。興味を持って、しかる



■遅咲きのオオシマザクラ

庁舎建設を問う

質問 市政報告での「設計内

べき機関に相談させて頂きたい。

質問 不快な臭いが武家屋敷周辺、横町、中央通りに流れている。桜美町もかなりひどい。調査や取り組みについて伺う。

答弁 (農林部長) 以前からご指摘を頂いている。平成26年・29年には、横町橋と鶴の崎橋付近を調査しているが科学的に測定する事が出来なかった。周辺の養鶏場には、堆肥処理機械の導入や畜舎の改修、脱臭装置導入による無臭化を行った。臭気測定の定期化を進め、原因を究明し有効な対策を講じたい。

容について慎重な検討作業を行っている」とは何のことか伺う。

答弁 建設資材仕様及び単価見直しを行い、設計図書の変更、全体事業費の見直しに至った。

質問 1回目の入札不調の時点で、調査するべきとの意見は出なかったのか。

答弁 1回目の不調の際には、設計に違算はない事の確認はできている。その後、2回目の不調を受け、入札を阻害している原因調査の中で、入札予定企業への聞き取り作業を行って現在に至っている。

質問 庁舎は地域活性化に資するべきと思うがどうか。設計図書の公告や入札日等の日程はどうなるのか。

答弁 心情としては、地元の皆様方に協力、参加を頂きたい。しかし、事業を発注する側は、納品された施設を活用して行政運営を行い、まちづくりを進めていくという事になるため、工事発注の枠組みは、指名審査会の判断に委ねられる。

(熊谷一夫記)

JR 秋田支社との連携による宿泊施設整備 計画性をもった取り組みを

蒼生会 高橋

豪 議員



市長

この事業を先駆けとし、計画的に取り組みたい

仙北市、JR秋田支社、市観光協会（DMO候補法人）との連携協定を問う

質問 連携協定の具体的な内容を問う。

答弁 具体的な取り組みとして、現在2つの事業が進んでいる。1つは、昨年度も実施した「五感楽農事業」である。これは、農業体験などを盛り込んだJR商品として今年3回ツアーが計画されており、既に1回目のツアーが催行になっている。2つ目は、連携事業の中心となる、滞在型宿泊施設である。昨年12月にJR秋田支社から提案があり、幾つかの候補地の中から条件面を考慮し西宮家を選定した。6月の株主総会でこれが諮られる予定である。宿泊施設の概要は、蔵2つを活用した古民家風の施設で定員は各6名程度となる。それぞれ1日1組限定と聞いている。

質問 各地で、空き家や古民家などをリノベーションし、町を丸ごとホテルに見立てる「分散型ホテル」が活気を帯びているが、市でも計画性をもった取り組みが必要ではないのか。



■リノベーションされる西宮家

答弁 計画的な取り組みについて、将来的にはこの協定をきっかけにして、一定エリア内に民家等を改修した小規模な宿泊施設が点在し、旅行者と住民の交流や、自然・文化体験、食事や温泉を楽しむことができる観光まちづくりにつながっていききたい。JRとの連携は、このプランの先駆けになると受け止め、価値観も違う多様な方々が長く滞在できるように市でも計画的な取り組みを行いたい。

観光地としての景観向上と無電柱化の推進を

質問 伝建群はもとより、それ以外の部分の景観向上を積極的に進めるべきであると考えられるがどうか。

答弁 平成28年から景観条例が施行されている。これにより、例えば高さが10メートルまたは建築面積が500㎡を超えるものなどが届け出の対象となり、これまで37件の事例がある。ただし、屋根のデザインなどについての強制性はない。このため、伝建群以外の箇所でも、看板や戸建住宅など景観を阻害しているという指摘を受けたこともある。

市では昨年、景観づくり市民会議を発足した。今後、市民会議からの意見を参考にしながら良好な景観づくりを進めていく。

質問 無電柱化が進んでいない。今後どうするのか。

答弁 景観づくりにおいて非常に有効な事業と捉えている。歴史的風致維持向上計画の中で無電柱を進めていきたい。

観光客の苦情を真摯に受け止めリピーター増加を

質問 観光客からの苦情を真摯に受け止め対応することがリピーター増加に繋がる。具体例として、武家屋敷駐車場の雨天時に関する環境の悪さについて多くの苦情が寄せられていると聞く。今後どう対応するのか。

答弁 当該駐車場について、昨年度、田沢湖角館観光協会から舗装化の要望を頂いた。

しかし、この用地は伝統的建造物群保存地区内にあり、文化財保護法並びに仙北市角館伝統的建造物群保存地区保存条例等に基づき策定した保存計画によれば、道路面における敷地割の復元整備を図るとされている。舗装化を行うには、保存計画の変更が必要となるが、昨年、角館伝統的建造物群保存地区保存審議会に諮ったところ、認められないという結論だった。改正文化財保護法では、文化財の活用も主な特徴となっており、まずは市民と勉強会を開き共有していきたい。

（高久昭二記）

総務文教常任委員会

旧角館東小野球場の企業用地転用に伴い、 中川小グラウンド、雲然球場を改修整備へ

6月定例会、総務文教常任委員会では、消費税法及び地方税法の一部改正に伴う関係条例の整備についてや、一般会計補正予算などが審査されました。補正予算には、旧角館東小学校野球場が企業用地として提供されることに伴い、代替施設として、中川小学校グラウンドと雲然球場を整備する内容が盛り込まれました。

主な内容

地域おこし協力隊事業費

△20万円

地域おこし協力隊員が直接雇用ではなくなるための予算組み替え

クニマス里帰りプロジェクト事業費

10万円

白浜クリーンアップの小中学生用バスの借上料

モビリティサービス推進事業費

181万円

白岩デマンドタクシーと抱返り観光周遊バスの自動走行に向けた調査事業

小学校施設整備費

159万円

中川小学校グラウンドの整備費 水道設備と外野フェンスの購入など

田沢湖マラソン大会負担金

40万円

田沢湖マラソンに台湾高雄市の選手を招致することに対する滞在費など

市民野球場管理運営費

283万円

雲然球場の整備費 トイレ・物品庫のレンタル ダッグアウト整備など

ここが知りたい 議論のポイント

一般会計補正予算の主な質疑

地域おこし協力隊今後活躍を

質問 地域おこし協力隊に関する予算が減額となっているが、どのような内容なのか？

答弁 この予算は、ドローン関係での地域おこしを目的に、平成29年8月から着任している播磨靖之（はりまやすゆき）隊員からの、雇用契約変更の申し出により、活動報酬等の支出変更による予算の組み換えである。隊員は来年7月で任期満了となることから、これまでの実績を生かした事業に取り組むため、市の職員としての直接雇用関係を終了させる。今後は、今までの市との連携した活動に、任期満了後の定着を見据えた、営業活動が加わることになる。これまで培った観光事業者やグリーンツーリズム関係者、体験施設等とのつながりによって、様々な場面でドローン技術を最大限に活用し、観光振興などに寄与して頂けると期待している。

モビリティサービス事業とは？

質問 モビリティサービス事業費として181万円の予算が計上されているが、具体的に何をするのか？

答弁 この事業は、運転手不足によるサービス低下を防ぎ、今後の地域公共交通へのニーズに対応するため、モビ

リティAIを活用した自動走行の社会実装を目指すもので、東京都にあるモネテクノロジー㈱に委託する。白岩のデマンド型タクシーに調査装置を取り付け運行して頂く。その中でデータを収集し将来の自動走行につなげるという取り組みである。抱返り方面の観光周遊バスも同様の調査を行う。予算の内容としては、システムの初期設定や調査機器の賃借料、及び周知チラシ作成が主な内容である。

中川小学校グラウンドと雲然球場の整備代替施設として適切な環境を

質問 旧角館東小学校野球場が企業用地となることにより、代替施設とされる中川小グラウンドと雲然球場の整備内容について伺う。

答弁 中川小学校野球場については、トイレの借上げや水道の引き込み、外野フェンスの購入、雲然野球場については、トイレ・物置のレンタル、ダッグアウトの改修、外野フェンスネットの購入などが主な内容である。

質問 市が予定する整備内容の他にも、現地を確認すると、学童・500歳野球に対応するベースが無いことや、バックネット裏の環境が悪いこと、外野に穴が空いているなど、多くの改善すべき点があるがどうするのか。

答弁 ベースについては当初予算で設定している修繕費で対応する。また、バックネット裏の状態も悪く今後整備を進めたい。外野のくぼみや、その他の不具合についても、早急に検討を進めたい。

市民福祉常任委員会

消費増税に関する低所得者対策 プレミアム付商品券を10月から販売へ

6月定例会の市民福祉常任委員会では、令和元年度一般会計補正予算などが審査されました。10月からの消費税10%への引き上げに伴い、低所得者や子育て世代の消費を喚起・下支えすることを目的に、最大で2万5千円の商品券を2万円で購入できる、プレミアム付商品券が販売されます。

主な内容	プレミアム付商品券事業費	4,384万円
	プレミアム助成金、商品券取扱業務委託料、システム改修委託料及び臨時職員賃金等	
	保険事業総務費	137万円
	臨時職員賃金及び健康管理システム改修委託料の追加	
	予防事業費	327万円
	風しん抗体検査・予防接種委託料及び事務手数料の追加	
	国民健康保険特別会計神代診療施設勘定繰出金	200万円
国民健康保険特別会計神代診療施設運営に係る繰出金の追加		



■プレミアム付商品券（見本）

仙北市放課後児童健全育成事業の
設備及び運営に関する基準を定める
条例の一部改正について

質問 支援員のなり手がいないと聞く。人員の調整等はどうしているか。

答弁 支援員は現在50名在籍している。人手不足時など臨時的に急遽お願いする方も3名いる。また、シルバー人材センターと派遣契約もしており、支援員がどうしても補充できない場合は依頼し対応している。

質問 特別支援相談員を配置したと聞いたがどのようなになっているのか。

答弁 支援員の悩みの相談や指導に携わって頂き、学校との連携・教育面の専門的課題もスムーズに解決されるようになった。

質問 プレミアム付商品券事業費について、住民税が非課税でも、扶養の有無などで対象になる人とならない人が生じ、大変複雑である。
同一世帯の中に課税者がいれば対象にならないのは、低所得者の消費を喚起・下支えする目的に非常に矛盾している。子育て世代が大変なのに、3歳半で区切っている。本当にかかるのは、それ以上の子育て世代ではないか。
答弁 非常に共感する。政策の段階から、地方の意見も参考にしながら、よりきめ

質問 国民健康保険特別会計神代診療施設勘定繰出金について
答弁 市立角館総合病院の医師に管理者を依頼し、神代診療所に37回来るとのことだが診察はするのか。
答弁 7月から翌年3月まで、毎週火曜日の午後に神代診療所に来てもらい診察と管理業務をしていただく予定である。

細やかに対応頂ければ、対象者の問題も良い方向になったと思うが、一括した国の制度なので受け入れるしかない。
質問 過去にもプレミアム付商品券事業があったと思うが、今回は条件付きである。例えば商品券を譲り受けたりする人が出た場合の対策はあるのか。
答弁 対策はない。ただし、引き換えの記録と対象者が何回引き換えたのかは残る。

ここが知りたい
議論のポイント

一般会計補正予算の主な質疑

産業建設常任委員会

新しい税制度「森林環境税・森林環境譲与税」により、 仙北市森林環境譲与税基金が新設される

6月定例会の産業建設常任委員会では、観光商工部、農林部及び建設部に係る消費税法及び地方税法の一部改正等に伴う関係条例の整備に関する条例が審査されました。また、仙北市基金条例に森林環境譲与税基金を追加することや、令和元年度一般会計補正予算及び水道事業会計補正予算についても審査されています。

主な内容

強い農業・担い手づくり総合支援事業費補助金

183万円

農事組合法人の農業機械購入に対する補助

都市農村交流施設管理運営費

23万円

(株)アロマ田沢湖のハーブ園ハートハーブの風除室修理費

森林経営制度管理事業費

2,639万円

私有林調査業務委託料 614 万円、森林環境譲与税基金へ 2,024 万円積立て

ジビエ振興事業費補助金

150万円

田沢湖ジビエの会での有害鳥獣（熊、シカ、イノシシなど）の食肉加工施設建設補助

中小企業活性化支援事業費補助金

30万円

起業、事業拡大に要する経費の補助金の増額

伝統工芸・細工技能後継者育成事業費

72万円

樺細工職人の増加による後継者育成事業費の増額

ここが知りたい 議論のポイント

一般会計補正予算の主な質疑

新設される森林環境譲与税について

質問 本定例会の補正予算の歳入に森林環境譲与税があり、その歳出は、森林経営制度管理事業費として、私有林調査業務委託料と森林環境譲与税基金への積立金を計上しているが、概要と新たな基金である森林環境譲与税基金は何に使用できる基金なのか。

答弁 4月1日から、森林環境税及び森林環境譲与税に関する法律が施行され、地方譲与税として森林環境譲与税（2,639万円）が国から譲与される。これは、私有林の所有者が、市へ管理を委ねた場合、市が森林環境整備等を行うための財源である。今年度は、林政アドバイザーへ私有林の調査業務を614万円で委託し、残りの2,025万円は森林環境譲与税基金として積み立てる。基金は、手入りの行き届いていない私有林の人工林を管理していくための費用に充てる。

ジビエ振興事業費補助金について

質問 猟友会で捕獲した野生鳥獣の食肉加工施設建設に補助金を出すとのことだが、財源、施設の規模、設備、建設場所を伺う。

答弁 財源は、一般財源と生保内財産区特別会計繰入金からそれぞれ75万円で、合計150万円の補助金である。木造平屋で延床面積は29.51㎡である。

建築確認を取るのに県にも申請する。電気、給排水設備も設置する。建設場所は、これまで、ブルーシートで覆って加工処理

していた生保内電装敷地内である。

質問 建設場所付近は通学路でもあり、鳥獣の解体の様子が子供たちの目に触れないことや、周辺の臭いなどに配慮が必要ではないのか。

答弁 建物は、シャッターや引き戸の扉を設置するなど、外から見えない設計としている。安全面、衛生面でも保健所等の指導を受けて、設計業者と協議して進めていく。

質問 田沢湖猟友会が中心となって設立された「田沢湖ジビエの会」による、有害鳥獣の駆除と食肉加工販売に対する市の考え方は。

答弁 ジビエの加工施設は全国で約590カ所もあり、特に関西、中部地方に多い。秋田県では阿仁の1カ所しかない。市の考え方は、有害鳥獣による人的被害及び農産物被害を防ぐと共に、捕獲後の処理も兼ねた食肉加工販売を副産物として捉え、安全性・衛生面を含めしっかりと体制で運営できるように指導、サポートする。将来的には産業振興、観光振興も期待したい。



■田沢湖ジビエの会の食肉加工施設建設予定地

いきいき広場

白岩ベースボールクラブ

2年連続で仙北市代表として、全日本学童軟式野球秋田県大会に出場する白岩小学校の学童野球チームを訪問しました。

メンバーは、3年生3人・4年生1人・5年生5人・6年生5人の合計14人の少数精鋭チームです。

キャプテンの草薙徹平君の将来の目標はプロ野球選手です。「練習の段階から気迫を込めて、相手を圧倒し全県優勝を目指します。」と意気込みを語ってくれました。

監督5年目の藤原茂樹さんは、金足農業高校野球部OBです。「小学生の監督として、野球の技術を教える前に、『人としてあたり前のことをあたり前にやる。』ことを強く指導している。」とのことでした。なるほど、私を出迎えてくれた子供たちの元気のいいあいさつの理由が分かりました。

親の会の会長兼コーチの草薙吉憲さんは、「監督が練習に来るまで、親の会が交代で練習を見守るのですが、今年は母親もスポ少認定者の資格を取得し、グラウンドに来てくれているんですよ。」と、お母さんたちの協力に感謝していました。

仙北市予選大会の3試合を、すべて2ケタ得点のスコアで臨んだ秋田県大会でし

たが、初戦の岩見三内スポ少に3対5で惜しくも負けてしまいました。が…今日も、白岩コミュニティ運動広場から響き渡る子供たちの声が、白岩地区のみんなをとっても元気にしてくれています。

(高橋輝彦記)



■2年連続・仙北市予選大会優勝の白岩BC

控室

待ったなしの財源不足に 対処する

令和最初の定例会。農業に
関係する議員たちの朝の一言
が「雨降らないな」「水不足
でおらほの田んぼ大変だ他の
地区はどうだ」と、雨が降ら
ないための水不足を心配する
声が飛び交っていました。

幸い議会開会中に恵みの雨
が降り、ホットした雰囲気

流れました。

雨に関しては天の神様の気まぐれであり、地上の人たちではどうしようもないことですが、当仙北市の財政に関しては当局、議会、市民の皆様
の意見や提言により、現状の苦しい財政事情を変えられる。また、変えなければ仙北市は財政破綻をきたすのではと危惧されます。そうならないため我々議会としていつも以上に予算をしっかりと精査することが必要になります。

(小木田隆記)

編集後記

令和元年最初の議会での変化は、一般質問での担当部長
答弁が増えた事である。市長
が各部の原稿を読むより、部
課長の答弁により、進捗状況
や問題の核心に迫り、活発な
一般質問となった。但し、最
後の決断は市長が行なうこと
になるが今後の展開が楽しみ
である。

2つ目は、約2年9カ月ぶりに会派代表者会議が開かれた事である。新会派が結成され、代表者の下でしっかりと意見集約を行い、諸問題に対処していく議会運営の骨格が整ったと思う。今後も、民意を反映して分かりやすい記事をお届けするよう自覚し、編集委員一同頑張っていきたい。

(熊谷一夫記)